

伊勢湾貧酸素情報（第2報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

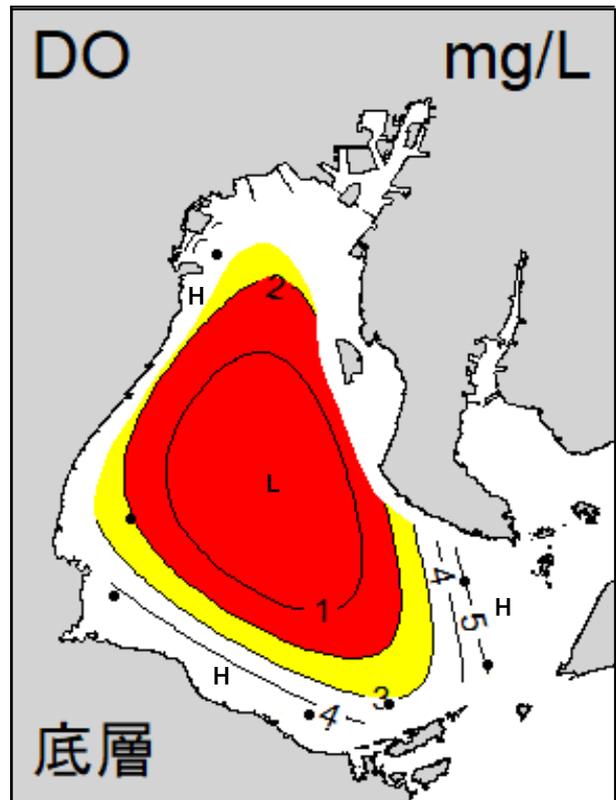
7月17日の調査結果

7月17日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.0～26.6℃、10mで 21.7～23.2℃、底層で 18.4～23.1℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m及び底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.2～12.7 mg/L、10mで 4.1～6.1mg/L、底層で 0.1～5.3 mg/Lの範囲にあり、表層及び底層は平年よりやや低め、10mは平年よりやや高めとなっていました。

底層では広い範囲で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されており、1 mg/L以下も観測されるなど、先月の観測時よりさらに貧酸素化が進んでいました。

この時期は表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図